

民児協 あこう

支えあう 住みよい社会 地域から

第 62 号 令和 5 年 春号



旧坂越浦会所

民生委員児童委員信条

- 一、わたくしたちは、隣人愛をもって、社会福祉の増進に努めます。
- 一、わたくしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます。
- 一、わたくしたちは、誠意をもって、あらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努めます。

- 一、わたくしたちは、すべての人々と協力し、明朗で健全な地域社会づくりに努めます。

- 一、わたくしたちは、常に公正を旨とし、人格と識見の向上に努めます。

児童憲章



- 児童は、人として尊ばれる。
- 児童は、社会の一員として重んぜられる。
- 児童は、よい環境の中で育てられる。



尾崎地区 (16名)
あなたに会いたい
委員がいます

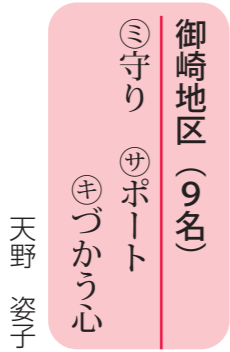


大毛 直助 小泉世津子
中谷 俊文 ☆武本 和宏
佐田尾豊子 中西 知子
杉本日出美

西部地区 (7名)
思いやりのある
こころ豊かなまち西部

大道 訓敏 水守 保子
大田 登 水野希代子
花田 洋介 濱田 朋枝
山本 信行 松本十代子
竹林 勇 ☆山口 五月
小木曾 優 西川 長子
堂園 敏己 田中 一正
濱村 和志
山本 陽三
作本 正登

御崎地区 (9名)
③守り ④サポート
⑤きづかう心



岡田 政義 天野 姿子
鈴木 良正 ☆米田 藤田 佳子
山本 精一 金谷 明美
松下 良文 林 恵子



山崎 直子 山下真理子
頓田 清子 濱田 雅司
山口 長子 高田 泉
高田 洋子 ☆三宅 伸治
寺田 禮子 藪野 順一
目木かず代 間鍋 幸子
大西 直樹 馬場 啓子
古田 優二 高木 啓子
司波 伸作

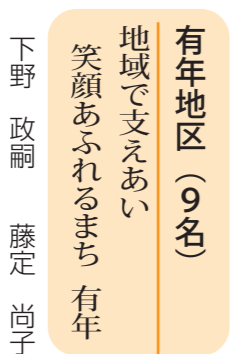


坂越地区 (10名)
ちよつとした
心遣いが笑顔呼ぶ



加藤 三智 田原ひとみ
前川 道子 三橋あけみ
東 勝江 ☆佐竹 秀元
酒井 克代 菅野 浩基
稲本千津子 豊家 正昭
前田 守平

有年地区 (9名)
地域で支えあい
笑顔あふれるまち 有年



下野 政嗣 藤定 尚子
小林 秀樹 陰山 良子
寺内 一成 桐谷 光義
福本 廣美 大池 加代
☆大田 正之



高雄地区 (6名)
たすけあい
かかわりあい
おもいあう
高雄の輪

松原 泰弘 望月 博子
高田 寿也 ☆松本 敏浩
西本 弘 古森 雄三

主任児童委員 (5名)
育てよう子どもの心
守ろうみんなの笑顔



まっちゃん ゆっこ
ふじちゃん みさ
かじはら ひろこ
むつたに みえこ
やまね すみこ

ご自身の担当民生委員児童委員については市社会福祉課へおたずねください。
TEL 43-6807



就任のご挨拶



赤穂市民生委員協議会 会長 古森雄三

昨年末に民生委員児童委員の一斉改選が行われ、新たな体制の中で新会長に選任されました古森でございます。

微力ではありますが、皆様方のお力をお借りして、地域福祉の向上に努めてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。さて、少子高齢化が進み、人口減少社会が進行する中、高齢者への虐待をはじめ、いじめ・非行問題といったこれまでの課題から、コロナ禍による生活困窮者の増加、またひきこもり、ヤングケアラー問題といった生活課題は、複雑化・多様化しており、更なる改善など地域福祉の充実が叫ばれております。

副会長



稲本千津子

副会長



大田 登

社为中心的担い手である民生委員児童委員に期待される役割はますます広がっています。全国的に、民生委員のなり手不足が深刻化しておりますが、幸い、本市においては、民生委員推薦会の皆様方のご努力により、本年4月からは欠員なしの定数111名でスタートを切ることができました。今後とも、コロナ禍での貴重な経験、体験を活かし、更に関係機関と連携をとりながら、各地域において住民の立場に立ったきめ細やかな見守り、相談援助などに取り組み、地域福祉の増進に努めてまいりたいと存じます。

あなたの地区の 民生委員児童委員です！

☆地区委員長

赤穂地区 (17名)
細やかな心くばりから、
大きな喜びへ



大釜江里子 宮崎有美子
元岡 素子 西野 照世
中川 尚子 塩江 千津
尾上 幸美 ☆陰山 透
湯元眞美子 備生 千香
西畑 真美 津野喜久子
岩井 伸一 材木 愛子
山崎 正則 牧野 文子
虎津 禎一

城西地区 (14名)
笑顔でつなぐ 地域の和
支える私ら民生委員

山中 清子 亀谷 早苗
北川 明美 沼田 稔
米原 佳代 ☆村阪やす子
西中 和美 平井 和子



石野 光利 吉村 良子
柏 日出男 藤原 博
馬場 宏之
舛田 三郎

塩屋地区 (17名)
目配り・気配りで
安心を





目を見て話しかけて

「おはようございます」週に3日ほど同じ所で出会うので顔見知りではありませんが声をかけていました。しかし、その人は気づいているのか、気づかないのか、何の言葉も返してくれません。そのうち声をかけるのをやめて、知らん顔をするようになりました。

人は反応してくれなければ、こちらからは声かけをしなくなります。これは赤ちゃんにも当てはまります。赤ちゃんの発信に反応してあげないと赤ちゃんから発信しなくなってしまいます。泣いたり笑ったりアー・ウーと声を出すことに返事をしてあげてください。

サイレントベビーって聞いたことはありますか？「無表情、泣かない、笑わない」というような特徴をもつ赤ちゃんのこと。泣かない子は手がかからなくていい子とも言えそうですが本当に「いい子」なのでしょう。

「赤ちゃんに話してもどうせ分からないから」と何も話さないのではなく、抱っこするときもオムツを替えるときも、関心を持って目を見てたくさん話しかけてあげてください。



部会の抱負

高齢者福祉部会

現在、世界が変な方向に向かっている様に思います。
ロシアがウクライナに侵攻して一年が過ぎ、多くの人が亡くなっています。
また、トルコ南部とシリアで巨大な地震が発生し多くの人間が災害に遭遇し亡くなっています。
そして、我が国日本では、南海トラフ巨大地震の発生が予想されています。今からでも対策を講じることが必要です。例えば転倒防止・落下防止、発災後のトイレ問題は命に関わる非常に重大な問題です。
これらのことを出来るだけ多くの人に伝えて減災に繋げて行きたいと思えます。

障がい者福祉部会

大阪地裁で2020年から始まった民事訴訟が今年2月上旬結審し、月末27日に出た判決では「聴覚障がい児の逸失利益は、全労働者賃金平均の85%」というものでした。
この判決は聴覚障がい者団体の約10万人の署名提出もあり、聴覚障がい児の大学進学率の上昇傾向や音声認識アプリなどのテクノロジの発達で将来収入が上昇する事を斟酌したものの、判例主義の平凡なものでした。部会での活動を通じ広く学び、より深く理解できるように努めてまいります。

児童福祉部会

昨年度の出生数が八十万人を割り、社会は、かまびすしくなっています。
その対策に本年四月「子ども家庭庁」が発足。また年頭所見で首相は「異次元の少子化対策」を、赤穂市長は「子育て支援が最優先課題」と述べています。今後の期待大ですが、行政はあくまで制度で子どもには環境が大事です。環境とは地域であり大人のことうです。
私達は部会として児童に関する知識と理解を深め、少しでも児童の環境の一助となりたいと思えます。

広報部会

三年前、活動を始めた矢先、コロナが猛威を振るい始め、出鼻を挫かれ、歯痒い思いの中、数少ない福祉活動に参加協力してきました。
今なお、不穏な雲行は続いていますが、広報部一同、「踏み出せばその一足が道となる」と、地域の皆さんとの繋がりが、見守りの大切さの啓蒙、共生の輪が広げられるよう努力していきたいと思えます。

編集後記

新年度が始まりました。各地区、各部会の委員の顔ぶれも変わりました。
コロナ以前のような活動規模にはまだ戻れませんが、新しい形で今できる活動の取り組みを皆様にお届けしていきます。
まずは、マスクなしのフレッシュな顔ぶれと挨拶をご覧ください。

